

投稿規程

学会誌への投稿を募集します。投稿内容は、論説、研究ノート、技術報告、ならびに最新の海洋調査機器、調査システム、調査プロジェクト等の解説、紹介記事、関係文献の紹介等を対象とします。投稿に当たっては、下記の投稿規程に従って原稿を作成してください。

なお不明な点があれば、編集委員会事務局（問い合わせ先は最後段の細目に記載）までお問い合わせ下さい。

投稿の仕方

- 1.本誌は、海洋調査及び技術開発に関する論説、研究ノート、技術報告、解説、紹介記事等を掲載する。投稿される原稿は、未発表及び未投稿であって、オリジナルな内容を含むものであること。
- 2.本誌に掲載される論説等の著作権は、海洋調査技術学会に帰属する。詳細は、著作権規程に別途定める。
- 3.論説、研究ノート及び技術報告の投稿者は原則として本会会員に限る。ただし、会員外の共同研究者を含むことは差し支えない。
- 4.論説、研究ノート及び技術報告は和文または英文で書く。その他の原稿は和文で書く。
- 5.原稿は原則としてコンピューターソフトを使用し、別記「原稿の書き方」にしたがって作成する。
- 6.論説、研究ノート及び技術報告については、著者に PDF ファイルを電子メールで無料進呈する。CD での送付を希望する場合には、その実費は著者が負担する。別刷りを希望する場合は、著者の負担とする。
- 7.著者は原則として原稿の PDF ファイルを編集委員会事務局宛てに電子メールで送付する（電子メールアドレス等は細目に記載）。なお投稿時の PDF ファイルは本文と図表を一つのファイルにまとめる。ただし電子メールが利用できない場合には、PDF ファイルを CD-R 等の媒体で郵送してもよい。
- 8.投稿文の掲載決定後、文章の電子データは、コンピューターソフト用のファイル形式に加えて、テキストファイル形式に変換したものを提出する。また図表等の電子データは解像度に配慮する。

原稿の書き方

- 1.原稿
原稿は A4 用紙を使用する。和文原稿は、上下左右に 30mm の余白、横書き 35 字×25 行とし、明朝体系のフォントでサイズは 12 ポイントを使用して作成する。英文原稿では、Times New Roman, 12 ポイント等の標準的なフォントを使用し、上下左右に 30mm の余白を残して 1 頁 25 行を基本とする。原稿の下部に頁番号と左に通し行番号を付け、表題、アブストラクト、本文、引用文献の順序で記載する。
- 2.表題
和文表題、和文著者名を、次に英文表題、英文著者名を書く。英文原稿の場合は順序を逆にする。また、和文及び英文著者名の右肩に*、**、***等の記号を付け、脚注として著者の所属機関名及び連絡先を和英両文で記入する。
- 3.アブストラクト
和文論説及び研究ノートには英文アブストラクトをつける。英文論説及び研究ノートには和文アブストラクトをつける。アブストラクトの標準的な長さは、英文アブストラクトの場合は 200-300 語程度、和文アブストラクトの場合は 400 字以内とする。なお、英文アブストラクトには和文対訳を別紙で添える。
- 4.本文
(1)章あるいは節の見出しには、大きな項目から順に 1., 1-1., 1-1-1., の様に番号をつけ、左端によせる。"はじめに" や "まとめ" も、ひとつの章と見なし「1.はじめに」あるいは「5.まとめ」のように見出しを付ける。
(2)和文は常用漢字を使用し、英数字は半角文字を使用する。

5. 引用文献

- (1)本文中で文献を引用して著者名を示す場合は次の例による.
 - ①文中で引用する場合
久保田(2017), 岩根・戸田(1980), Smith and White(1988a), Smith et al.(1986), 黒田ほか(1985)
 - ②文末で引用する場合
(野口ほか, 2017 ; 戸田, 1985), (Smith et al., 1988), (White, 1985, 1986)
- (2)引用文献は文末に一括し, 第一著者の姓のアルファベット順に並べる. 同一著者の場合は年代順に並べ, 著者名は略さない. 同一年代のときは引用順に a, b...をつける.
- (3)文献の記載は次の順による.
 - ①雑誌の場合
著者氏名: 表題, 雑誌名, 巻, 号, 頁-頁, (年)
Kato, S. and Y. Kuroda: Heat Flow Measurement, J. Acoust. Soc., 53, 2, p. 252-256, (1987)
中島輝允: 北鹿ベースンの地質構造・火成活動と黒鉱鉱床形成場. 地質調査所月報, 第44巻第2/3/4号, p.251-282, (1993)
Ishihara, T.: A new leveling method without the direct use of crossover data and its application in marine magnetic surveys: Weighted spatial averaging and temporal filtering, Earth Planets Space, 67, doi: 10.1186/s40623-015-0282-7, (2015)
 - ②単行本の場合
著者氏名: 書名, 出版社名, 頁数, (年)
加藤元彦: 2次元フィルターの理論と重力・磁力分布の解析, ラテライス, 262pp, (1987)

6. 図

- (1)図は原則として, 縮尺のみの変更で掲載できるものを, 電子ファイルの形で提出する. 電子ファイルが作成できない場合, 黒インクで明瞭に描かれたものか, これと同程度のものでもそのまま写真製版が可能なものに限る. したがって, 鉛筆書きあるいは文字を写植する必要のあるものは受け付けない.
- (2)図はそれぞれ別の用紙に書き, Fig. 1, 図1のように番号をつける.
- (3)図の縮小率は編集委員会で決める. 希望縮尺率をプリントアウトした原稿に鉛筆で記入するか, 電子ファイルの提出時にサイズを指定する.
- (4)凡例は独立させずに図中に入れる.

7. 写真

- (1)写真は原則として, 電子ファイルの形で提出する. 電子ファイルが作成できない場合, 光沢紙に焼き付けたものに限る.
- (2)番号は図と分けず通し番号とする.

8. 表

- (1)表は原則として, 縮尺のみの変更で掲載できるものを, 電子ファイルの形で提出する. 電子ファイルが作成できない場合, 図と同様にそのまま写真製版が可能なものに限る.
- (2)表は1印刷面に収まるように組む. 特別の場合にも見開き頁内に収まるようにし, 落ち込みとならないようにする.
- (3)縦横の罫線はできるだけ少なくする.
- (4)表はそれぞれ別の用紙に書き, Table 1, 表1のように番号をつける.

9. 図、写真、表の見出しと説明文

- (1)図, 写真, 表及びそれらの見出しと説明文は別紙とし, 本文原稿の右欄外に挿入希望位置を朱書きする.
- (2)図, 写真, 表の見出しと説明文は論説, 研究ノート及び技術報告では英文で, 他は和文で書く.
- (3)図, 写真, 表の見出しと説明文は別の用紙に一括して書き, 原稿の最後に添付する.

原稿の種別

1. 海洋調査とその技術開発に関連するもの

原稿の種別は以下のとおり. なお図表を含む刷り上がり頁数が制限を超える場合については, 後述の「著者による費用の負担」を参照のこと.

(1) 論説

オリジナルな研究論文で, 内容の主要な部分が学術論文として印刷されていない原著論文または,

総説等. 原則として図表を含めて刷り上がり 12 頁以内.

(2)研究ノート

研究速報及びこれに類するもの. 図表を含めて刷り上がり 6 頁以内.

(3)技術報告

調査に関する技術の報告等. 図表を含めて刷り上がり 4 頁以内.

(4)解説

最新の調査解析機器, 調査システム, 調査プロジェクト等の解説. 図表を含めて刷り上がり 4 頁以内.

(5)紹介記事

製品, 図書, 見学記事及びこれに類するもの. 図表を含めて刷り上がり 4 頁以内.

2.学会記事

本会の事業・運営等についての報告記事.

3.その他

ここにあげたもののほか, 編集委員会が適当と認めた事項.

編 集

- 1.論説, 研究ノート及び技術報告は, 編集委員会, または編集委員会から依頼された査読者によって審査される.
- 2.投稿原稿の採否は編集委員会が決定する. 編集委員会は, 原稿の内容について加除訂正を求めることがある.
- 3.編集委員会は, 原稿の投稿規程に反する部分を著者の承諾なくして投稿規程に沿うように直すことができる.
- 4.編集委員会は, 投稿原稿の受付年月日, 受理年月日を記録し, それらを投稿者に通知する.

校 正

- 1.論説, 研究ノート及び技術報告等の初校は, 原則として投稿者が行う. 再校以後の校正は, 編集委員会に一任する.
- 2.投稿者は, 初校の入手後 3 日以内に校正を終え, すみやかに返送すること.
- 3.校正の際, 投稿者が元の原稿と著しく異なるように書き換えたときには, そのために生じた印刷の増加分は投稿者の負担とする. なお, その掲載を次号以降に延期することがある.

著者による費用の負担

- ・制限頁数を超える場合は, 超過した頁の印刷代.
- ・カラー頁印刷代. 但し 4 頁までは学会が負担する.
- ・指定された形式の電子データが提出されない場合等の, 電子データ作成費用.
- ・その他, 特別な加工の費用.

□費用の詳細については編集委員会まで問い合わせのこと.

【 細 目 】

- 1.編集委員会事務局を〒164-0012 東京都中野区本町 2 丁目 29 番 12 号(株式会社海洋先端技術研究所内)に置く.
- 2.連絡先は, 電子メール : bwa41273@nifty.com である.

(追記)

本投稿規程は 2018 年 11 月 22 日より適用する. 規定の細目は, 必要に応じて別に定める.

図書紹介と見学記事の募集

図書紹介

1. 海洋調査とその技術に関する新刊図書等についての内容や著者等の紹介で本会の趣旨に沿うもの。
2. 原稿作成要領は、投稿規程による。
3. 内容や掲載号については、編集委員会事務局まで問い合わせのこと。

見学記事

1. 国内・外の調査機関、研究所及び民間企業等の施設や作業現場、会議等の見学記事で本会の趣旨に添うもの。
2. 原稿作成要領は、投稿規程による。
3. 内容や掲載号については、事務局まで問い合わせのこと。

製品紹介と広告

製品紹介

1. 海洋調査及びその技術に関する最新機器等の紹介。
2. 原稿作成要領は、投稿規程に準ずる。
3. 受付は随時行い、掲載可能な号に紹介する。内容、掲載号は編集委員会事務局まで問い合わせのこと。
4. 会員（賛助会員）割引あり。詳細は学会事務局へ問い合わせのこと。

広 告

1. 海洋調査とその技術に関する企業等の広告で本会のイメージを損なわないもの。
2. 原稿は1頁を全面原稿とし、原則として依頼者側で版下等を準備する。
3. 内容、掲載号は編集委員会事務局まで問い合わせのこと。
4. 会員（賛助会員）割引あり。詳細は学会事務局へ問い合わせのこと。